

KRAS G12C 変異肺癌患者におけるソトラシブの再投与の有効性についての後ろ向き評価研究

1. 研究の対象

2022 年 3 月～2023 年 12 月までに当院呼吸器内科にてソトラシブ（ルマケラス）の投与を受けた KRAS G12C 遺伝子変異を有する肺腺癌と診断され、ソトラシブ（ルマケラス）の投与を受けられた患者さん

2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日～2024 年 6 月 1 日

研究目的: ソトラシブ(ルマケラス)の実臨床での効果

研究方法: 研究対象者の方の診療録を後ろ向きに調査し、年齢・性別・喫煙歴・組織型・肺癌組織の PD-L1 TPS(%)・治療数・転移巣・ソトラシブの 1 回目、2 回目投与の有効性を投与期間(日)・ソトラシブ投与後の治療薬の有効性を投与期間(日)についてのデータを収集します。

本研究は研究資金の援助はありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 年齢・性別・喫煙歴・組織型・肺癌組織の PD-L1 TPS(%)・治療数・転移巣・ソトラシブの 1 回目、2 回目投与の有効性を投与期間(日)・ソトラシブ投与後の治療薬の有効性を投与期間(日)についてのデータ

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 副部長 國政啓

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

-----以上